

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境会議
グリーンロジスティクスチェックリスト
2009 年度調査へのご協力のお願い

ロジスティクス環境会議
グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG

グリーンロジスティクスチェックリストとは・・・

「低炭素社会」、「循環型社会」構築に向けて、物流・ロジスティクスに携わる企業・部門においても積極的な取り組みが必要です。

そこで、私たち「ロジスティクス環境会議」では、2006、2007 年度の活動として、物流・ロジスティクスに携わる企業・部門が取り組むべき項目（86 項目）を取りまとめ、「グリーンロジスティクスチェックリスト」として策定・公表いたしました。

本チェックリストの主な特長は以下のとおりです。

- ① 全 86 項目のチェック項目
方針展開、組織体制構築から、物流部門にとって身近な活動項目、さらには取引先との連携を意識した項目を網羅しております。
- ② 相対比較評価
各チェック項目に4段階（1.出来ていない、2.遅れ気味で努力不足、3.ますます出来ている、4.よく出来ている）の実施レベルを設定しており、比較評価が可能となっております。
- ③ 取組を進める際のヒントの掲載
参考情報欄を設け、施策等の行政情報、あるいは優れた企業事例等の情報の掲載をしております。（2009 年度調査にあたり、新たな情報を追加いたしました。）

グリーンロジスティクスチェックリスト調査の目的

本調査は、以下の事項を目的として、2008 年度より実施しております。

- ① 物流・ロジスティクスにおける環境負荷低減活動の取組状況を集計・分析する。
- ② 回答企業に対して、集計結果（全体平均、業種平均と貴社回答）をまとめた「簡易診断結果（詳細は次ページをご参照下さい）」を作成・返信（無料）することにより、自社の取組度合いを確認いただくとともに、今後の取組を進める際の参考資料としていただく。

なお、2008 年度調査では、114 社の方にご回答いただきました。2009 年度調査では、200 社を目標としておりますので、調査へのご協力のほどよろしくお願いいたします。

各社での簡易診断結果の活用方法

2008 年度回答企業において、簡易診断結果は下記のように有効活用されております。

- ・簡易診断結果より自社の強み、弱みを把握するとともに、弱みについての解決策を整理。さらに、それらについて経営層への説明を実施
- ・経営層が参画する環境推進委員会での説明用資料として使用
- ・関連企業やパートナー企業との勉強会で活用

さらに、継続的に回答することで、自社における改善取り組みの進捗確認のツールとしての活用が可能です。

簡易診断結果の内容

本調査にご協力いただいた方にお送りする簡易診断結果の内容は、下記5項目です。

① 総括表

自社合計点・平均点、回答企業全社や自社が属する業種における順位など、結果の全体像が把握できる。

② 平均点の分布

自社及び他社の位置づけが把握できる。

③ レーダーチャート

分類ごとに平均点を算出し、自社回答、全社平均、業種平均と比較。取り組みが進んでいる項目、遅れている項目が視覚的に把握できる。

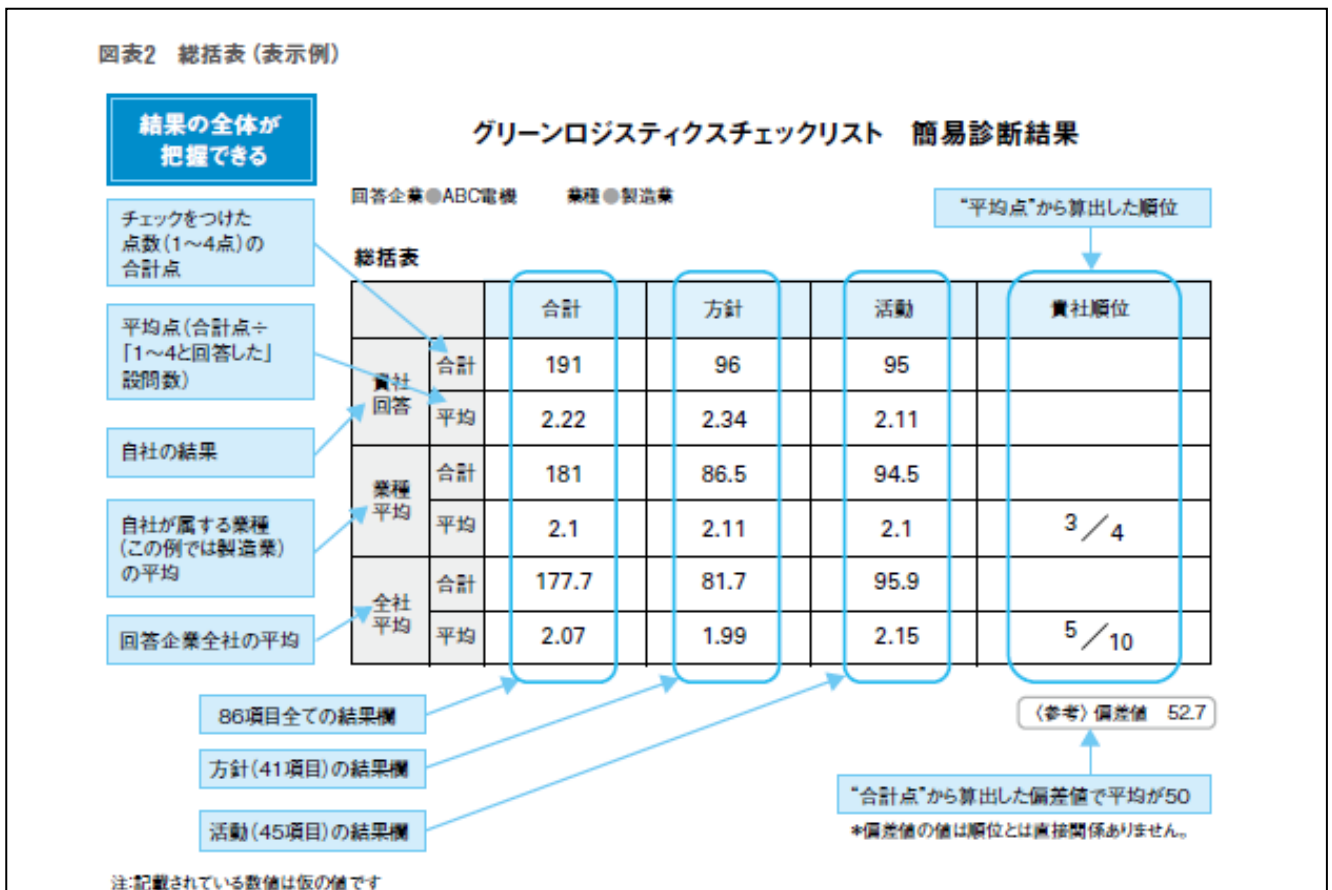
④ 中分類結果

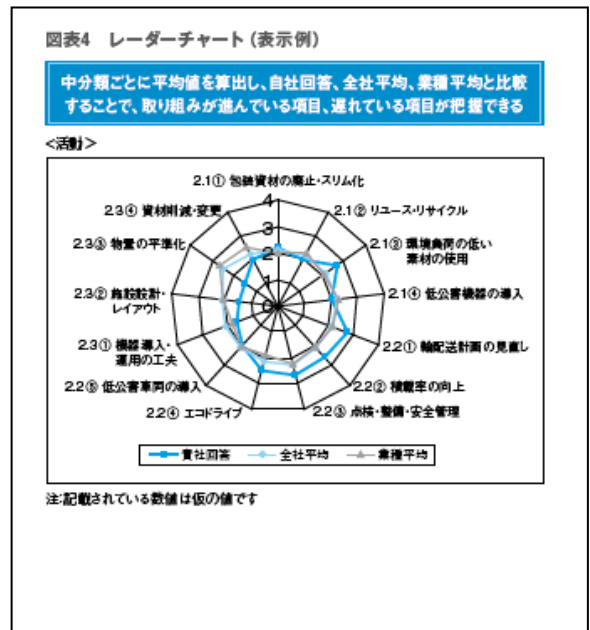
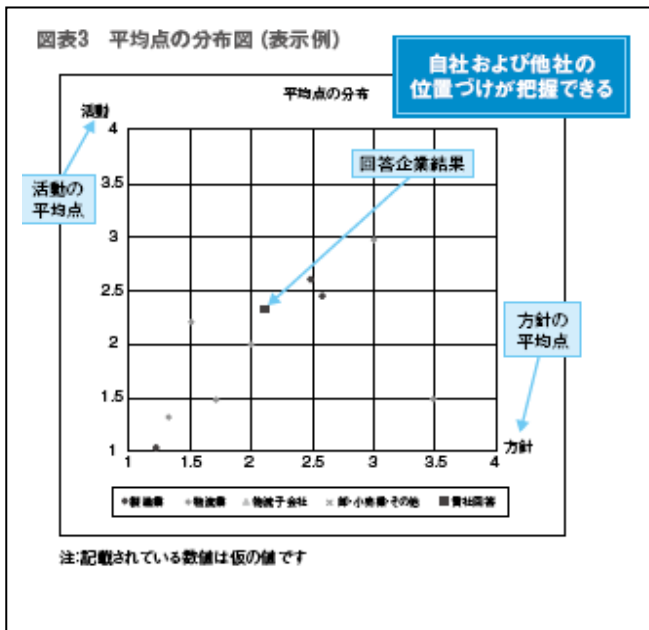
レーダーチャートを表にしたもの。中分類ごとに数値を示すとともに、自社回答が業種平均を上回ったかどうか「O」「X」で表示

⑤ 項目別結果

全 86 項目について、自社回答、全社平均、業種平均を示すとともに、自社回答が業種平均を上回ったかどうか「O」「X」で表示

<簡易診断結果の例>





2008 年度調査結果等について

2008 年度調査結果や簡易診断結果の活用方法等については、下記で紹介しております。

・ CGL ジャーナルⅢ vol.2

「グリーンロジスティクスチェックリスト調査結果報告会」

<http://www.logistics.or.jp/green/info/pdf/cgljournal3vol2.pdf>

・ J I L S 機関誌ロジスティクスシステム (2009 年4・5月号)

86 項目に込めた私たちの想い

私たちは、業種等に係らず、皆様が扱っている（生産、販売している）製品・商品の物流・ロジスティクス全般において、効率的で環境負荷の少ないロジスティクス実現のために必要となる項目の体系的な整理とともに、取り組みのヒントとなる参考情報の紹介を目的に本チェックリストを策定いたしました。ぜひ一度、お目通しいただきたく存じます。

さて、本チェックリストの 86 項目の中には、貴社では無関係と思われる項目もあることでしょうか。しかしながら、それらは誰も行っていないわけではなく、貴社の代わりに関係会社、取引先等が取り組んでいるものも多いと思われます。そこで、私たちは、自社に該当しない項目についても、それらの存在を意識し、上述の他の主体に対して積極的な働きかけや提案といった取り組みが一つでも進むことを望んでおります。そのためのツールとして、本チェックリスト、簡易診断結果が活用されることを切に願っております。

最後に、2009 年度調査では、200 社以上の回答を収集することで、簡易診断結果のさらなる精度向上等を図っていきたくと考えております。皆様におかれましては、本チェックリスト、簡易診断結果を基に、①自社で推進すべきグリーン物流施策テーマの把握、②自社内やパートナー企業との実践的な勉強会など、更に有効活用していただくことを願っております。さらに 2010 年には結果報告会も開催予定ですので、ぜひ本調査へのご協力のほどよろしくお願い致します。

回答方法

①「グリーンロジスティクスチェックリスト」等のダウンロード

<http://www.logistics.or.jp/green/report/08checklist.html> にアクセスし、「2009 年度調査へのご協力をお願い」欄にある

- ・「グリーンロジスティクスチェックリスト Ver1.1 .xls」
（以下、「GLチェックリスト」と呼ぶ）
- ・「グリーンロジスティクスチェックリスト Ver1.1 フェイスシート.doc」
（以下、「GLフェイスシート」と呼ぶ）

をそれぞれダウンロードしてください。

②「GLチェックリスト」への回答

ダウンロードした「GLチェックリスト」の回答欄に自社の取組度合い（1，2，3，4）、もしくは0（該当しない）の5つのうちの該当する番号をご回答下さい。

なお、回答にあたりましては、上記「2009 年度調査へのご協力をお願い」欄に掲載しております「ご回答にあたって.pdf」をご参照下さい。

③「GLフェイスシート」への回答

ダウンロードした「GLフェイスシート」に、必要事項をご回答下さい。

④回答票のメール送付

下記事務局宛に、回答いただいた「GLチェックリスト」及び「GLフェイスシート」双方をメールにてお送り下さい。

その他

（ロジスティクス環境会議やJILS会員への登録有無にかかわらず）グループ会社、関係会社や取引先の方の回答も歓迎しております。ご関心のある方がございましたら、ぜひご案内いただければ幸いです。

今後の予定

2009 年9月24日～11月13日	2009 年度調査実施
2009 年12月	集計、取りまとめ、簡易診断結果作成、返信（無料）
2010 年1～3月	結果の普及啓発（報告会の開催等）

<回答送付先・問合せ先>

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境推進センター 事務局 栗原、北條
〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F
TEL 03-5484-4021 FAX 03-5484-4031
メールアドレス kurihara@logistics.or.jp